



# 嚥下通信 vol.10

## ～咀嚼と、嚥下と、ときどき誤嚥～

### 嚥下障害シリーズ ～食器・自助具の紹介～

食事が自分では食べにくい方に対してさまざまな道具があります。

現在、嶋田病院ではこのような自助食器を使用しています。

#### スポンジハンドル・先割れスプーン



##### ★対象★

- ・握力低下や手指の可動域制限のある方
- ・スプーンとフォークの使い分けが困難な方

##### ☆特徴☆

- ・柄が太く、持ちやすい。
- ・スプーンまたはフォークとしても使用できる。

#### バネ付箸（右用・左用）



##### ★対象★

- ・手・肘の動きが悪く、食材がすくいにくい方
- ・高次脳機能障害（注意障害・半側空間無視・認知症など）で食べ物の認知や食べわけができない方

##### ☆特徴☆

- ・どこからでもすくいやすく、滑り止めがついている物もあるため食べこぼしの防止になる。
- ・一つの食器に食材をまとめることで、注意・認知されやすい。

#### ワンプレート



##### ★対象★

- ・手指の力が弱く、食材がすくいにくい方
- ・片麻痺等で一方向にしかすくえない方

##### ☆特徴☆

- ・食器が傾いており、食材が集まりやすく、すくいやすい。
- ・滑り止めがついている物があり食べこぼしの防止になる。

#### 片麻痺用皿



自分のタイミングやリズムで食事をとることができる食べると食べる喜び・楽しみ、生きる喜びにつながり、飲み込み（摂食嚥下）の改善だけでなく認知症の予防に効果があるといわれています。

食器・道具選びでお困りの方はお気軽にお声かけ下さい！